

2010  
4.5



# 中小企業家しんぶん

毎月3回発行  
5日、15日、25日  
第1144号

発行：中小企業家同友会全国協議会(略称 中同協) 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-39-14 大塚南ビル2F 電話03-5953-5721(代) FAX. 03-5953-5720  
定価(送料共)1ヵ月250円/年3,000円(会員の購読料は会費に含まれます) 振替00120-1-74548  
バックナンバー検索 <http://shinbun.doyu.jp/> ユーザー名 shinbun パスワード M0exfy4

今号の紙面から

- 2~3面 新卒採用の継続で企業が変わる  
東北合同企業説明会準備会より
- 4面 中央会会長と中同協会長が懇談
- 5面 第6回全道農業経営部会交流会
- 6面 映画「降りてゆく生き方」/本の紹介
- 7面 中同協各専門委員会より
- 8面 新支部誕生・御坊日高支部(和歌山)

2010年(平成22年)4月5日

中 小 企 業 家

## 映画



主演の武田鉄矢氏と磯村氏(写真  
右)。磯村氏も市長役で出演

いま、映画「降りてゆく生き方」が、人と人がつながる新しい生き方を問いかける映画として注目されています。四月十八日には、公開一周年を記念した『生き方』の祭典が東京・日

本青年館大ホールで開かれます。映画制作にあたった磯村健治氏(東京同友会会長)に寄稿していただきます。詳細は映画のホームページをご覧ください。  
↓<http://www.nippon-p.org/>

### 映画公開 1周年

現在、会員の皆様方におかれても、今日ほど会社の経営のあり方に悩んでおられる時はないのではないかと察します。  
第二次大戦後、私たちはひたすらに右肩上がりの経済成長と物質的豊かさ、そして個人的自由を求め続けてきました。会社経営においても、西欧型資本主義を疑うこともなく、利益追求を

### 「降りてゆく生き方」とは

映画制作株式会社アレサリオ 代表取締役 磯村健治(東京)

ない世の中となってきました。そういった社会が抱える根源的な疑問や不安を真正面からテーマとしてとらえ、問うたのが「降りてゆく生き方」という映画です。企画当初は、団塊の世代の主人公が、地方の疲弊し

たシャッター通りの商店街よりメガヒット商品と、消費社会の中で幸せに満ち溢れた生活を夢見て努力して来たはずですが、ところが、世界金融恐慌後の大企業の大失速、戦後最低の失業率、ニートが増大し若者たちが抱える不安は誰も解決できず、制作陣が全国のまちづ

くりの達人とよばれる方々を訪ね、徹底したインタビューを基に問題点を探っていきました。まちづくりの根底は、人と人のつながりにあり、すべての幸せは自然の中から生まれてくることに気づ

きました。そして生まれたタイトルが、「降りてゆく生き方」なのです。映画制作、配給の過程では既成の商業映画方式を一切無視し、一般の劇場公開はしない、TV放映、DVD販売もしないなど、当ても狙わない映画制作に行き着いてしまいました。それでも、スタッフは皆生き生きとボランティアに閉ま

れ仕事をしています。四月十八日は、公開一周年を迎えます。私どもの理念として、映画を消費に終わらせてはならないという思いのなか、さらに二年目を迎えることができたことに、支援してくださる皆様

方には感謝の気持ちでいっぱいです。  
当日は、上映と映画に深く影響を与えてくださった「奇跡のりんご」の木村さんや玄米からの酒造り「発酵道」の寺田さんなど多彩なゲストを迎え、主演の武田鉄矢さんと共に「新しい生き方」とは何かを考えます。きっとそれは会社経営の中でもなにかしら「新しい生き方経営」のあり方のヒントになれば幸いに思います。